

二一会研修会
2012/01/23

倒産処理法

筑波アカデミア法律事務所 弁護士 永島 賢也
東京都文京区大塚3丁目29番1号
http://tsukuba-academia.com/
TEL 03-6912-2461

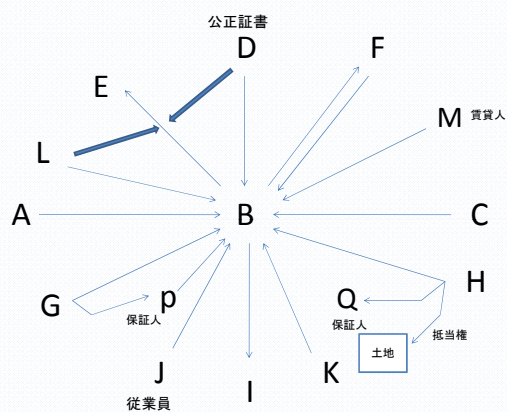
倒産処理法

- 破産法
 - 特別清算手続
 - 民事再生法
 - 会社更生法
- 清算型
配当率3%以下
- 再建型
9割カットの5年分割

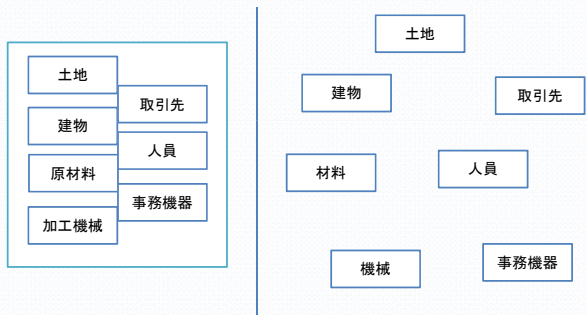
キーポイント

債権者間の不公平

継続企業価値の劣化



一体としての価値とばらばらの価値



問題点

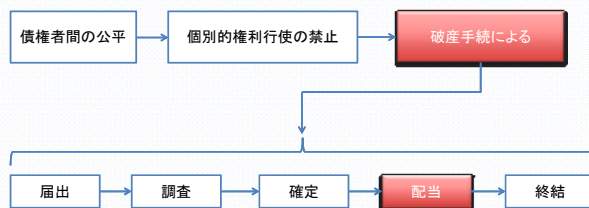
債権者間の不公平

継続企業価値の劣化

個別的権利行使の禁止

- 破産法100条1項
- 民事再生法85条1項

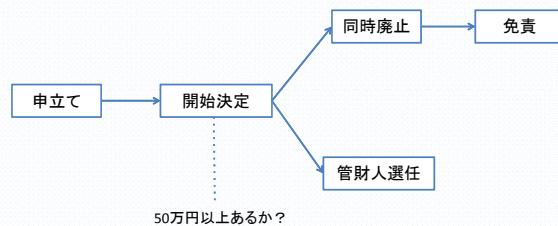
破産手続による...



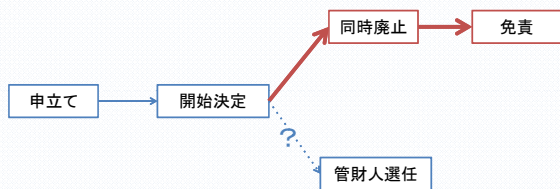
216条

- 裁判所は、破産財団をもって破産手続の費用を支弁するのに不足すると認めるときは、破産手続開始の決定と**同時に**、破産手続**廃止**の決定をしなければならない。
- 前項の規定は、破産手続の費用を支弁するのに足りる金額の**予納があった場合には、適用しない。**

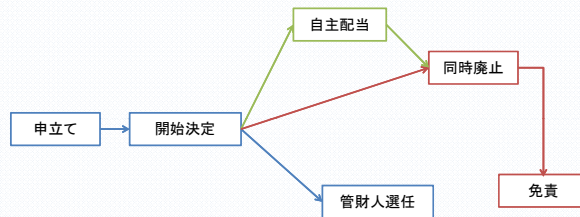
裁判所の視点から見る



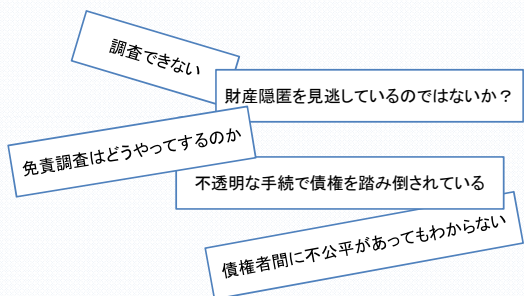
選択肢がない？



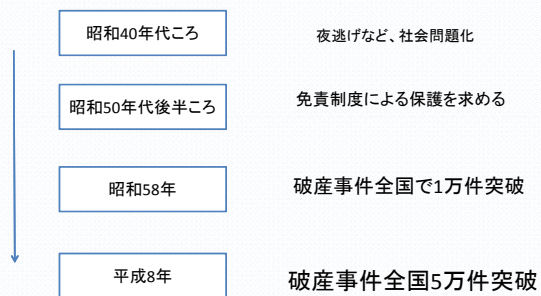
自主配当するかどうか



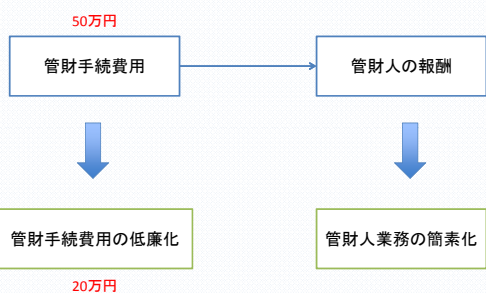
同時廃止の問題点



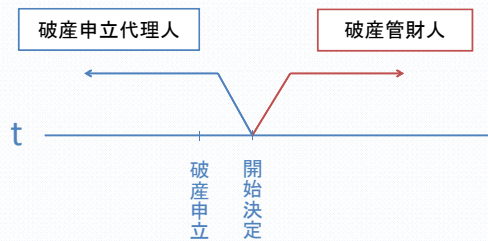
消費者金融



低廉化＝簡素化



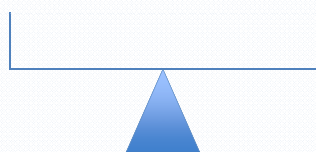
開始決定の前と後



バランス

破産申立代理人

破産管財人



破産申立
マニュアル

破産申立マニュアル 2頁

破産手続開始の申立ては法的な専門知識や専門的判断は必要でなく、**機械的**にすることができるという見解があるようであるが、このような見解を有する者は、破産手続開始申立ての**代理人**となるべきではない

弁護士による面接

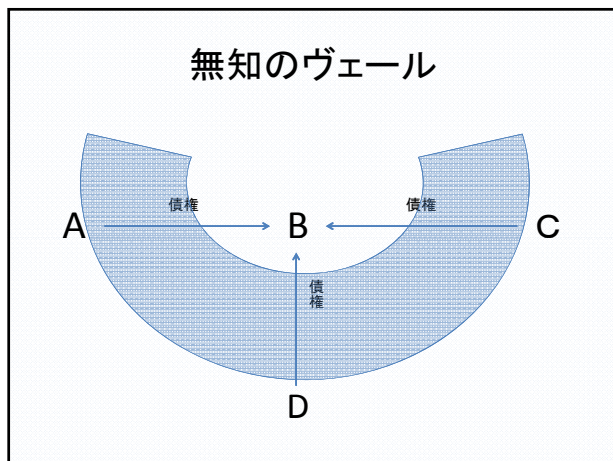
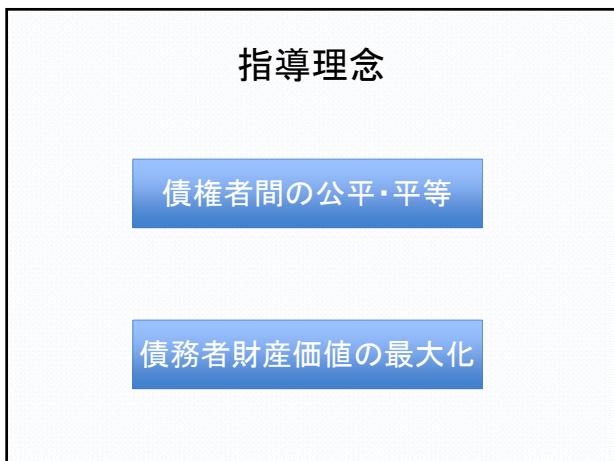
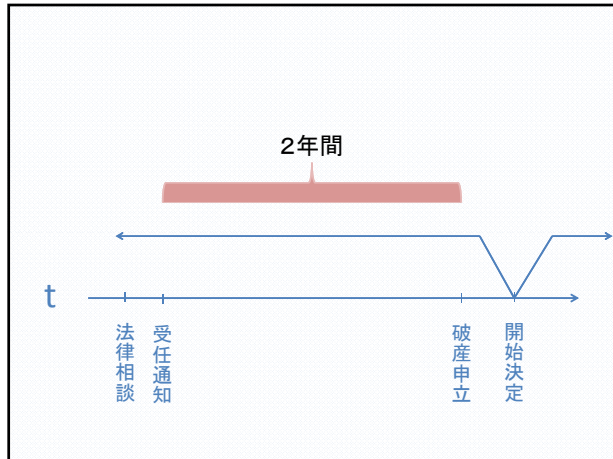
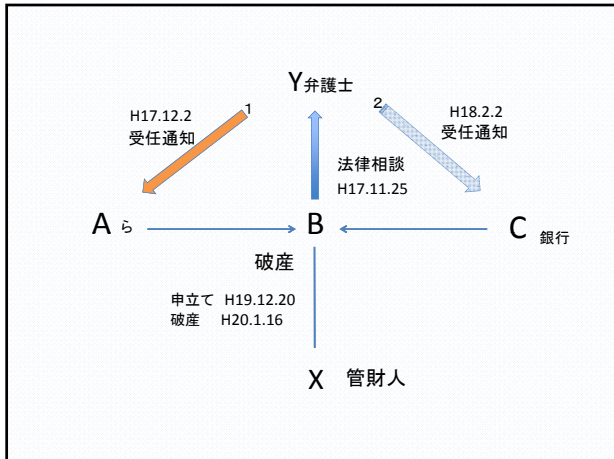
相談



面接

債務整理事件処理の規律を定める規程

- 第三条
- 弁護士は、債務整理事件を受任するに当たっては、あらかじめ、当該事件を受任する**予定の弁護士**(複数の弁護士が受任する予定である場合にあつては少なくともそのうちのいずれか一人を、弁護士法人が受任する予定である場合にあつては当該弁護士法人の社員又は使用人である**弁護士のうち少なくともいずれか一人をいうが、当該債務者と自ら面談をして、次に掲げる事項を聴取しなければならない。ただし、面談することに困難な特段の事情があるときは、当該事情がやんだ後速やかに、自ら面談をして、次に掲げる事項を聴取すること**で足りる。
- 一 債務の内容
- 二 当該債務者(当該債務者と生計を同じくする家族があるときは、当該家族を含む)の資産、収入、生活費その他の生活状況
- 三 当該債務者が不動産を所有している場合にあつては、その処理に関する希望
- 四 前号に掲げるもののほか、当該債務整理事件の処理に関する意向



マキシミン・ルール

- マキシミンルールは予想される最悪の結果によって選択候補をランクづけすることを私たちに命じている。
- すなわち、その最悪の結果が、他の選択候補がもたらす最悪の結果よりも優れている選択候補を私たちは採択せねばならない。

意思決定	情 況		
	c1	c2	c3
d1	-700	800	1200
d2	-800	700	1400
d3	500	600	800

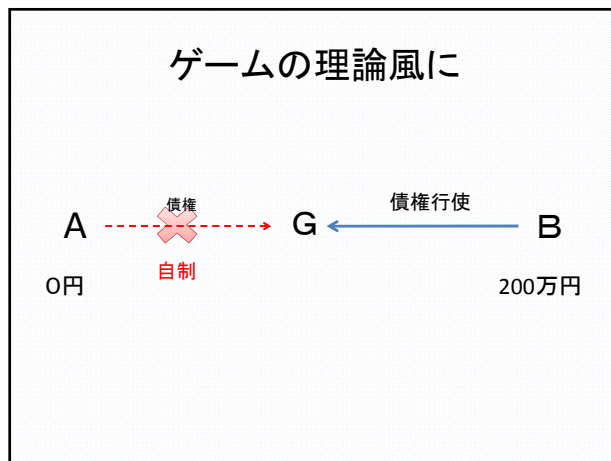
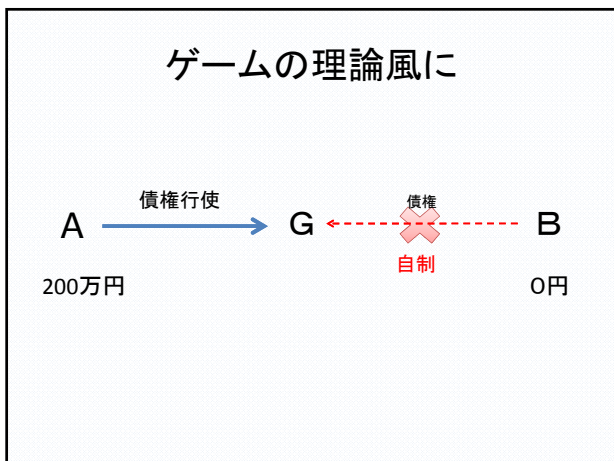
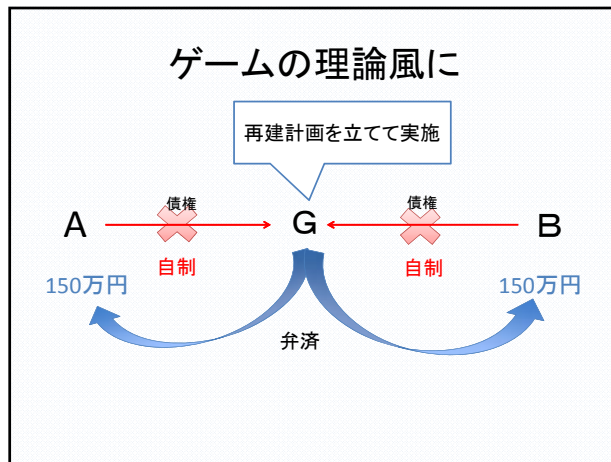
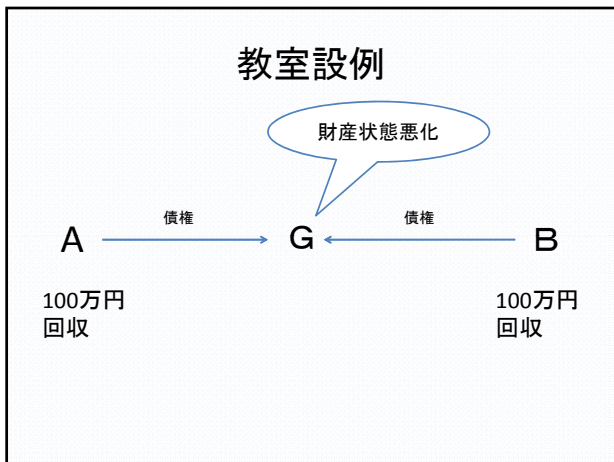
$$g = f(d, c)$$

制度選択

- 最悪の場合にも、平等の配当を受けられるような制度を望むと考えられるのです（倒産処理法入門）。

債権者間のマキシミン解

- 平等な配当が、1番！
- 平等な配当以外にも、マキシミン解に適合的な選択肢はあるか？
- 最小の回収しか得られない債権者にとって、最大の回収を得られるような、債権者間の不公平・不平等なら、許されるのか？



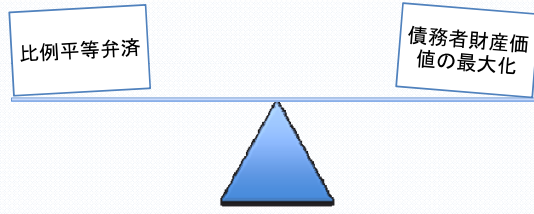
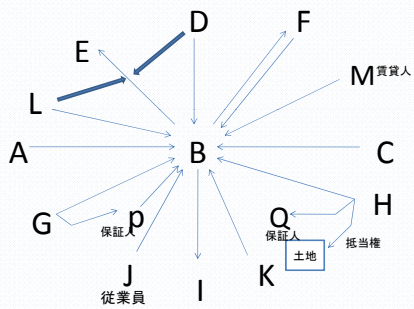
場合分け

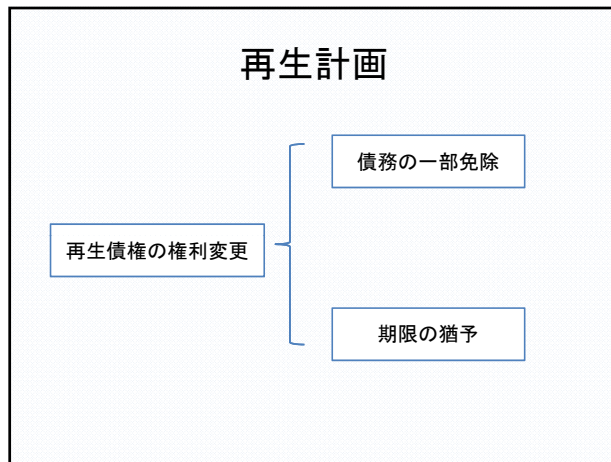
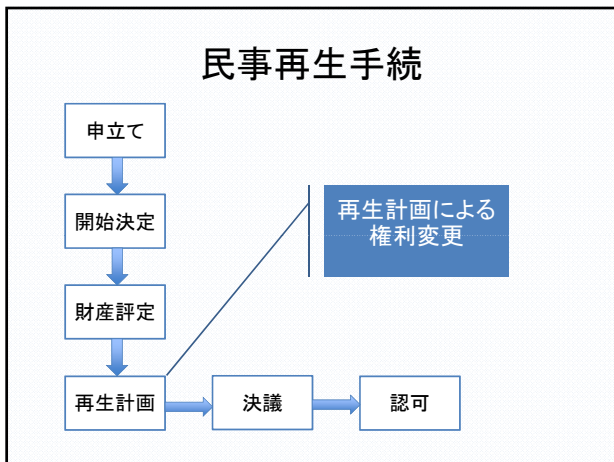
	A : 権利行使	A : 権利行使の自制
B : 権利の行使	A : 100, B : 100	A : 0, B : 200
B : 権利行使の自制	A : 200, B : 0	A : 150, B : 150

囚人のジレンマ

	A : 自白	A : 黙秘
B : 自白	A : 10年, B : 10年	A : 15年, B : 1年
B : 黙秘	A : 1年, B : 15年	A : 2年, B : 2年

債権者のジレンマ脱出？





174条1項4号

- 再生計画の決議が再生債権者の一般の利益に反するとき

清算価値保障原則

* 関連用語
 予想破産配当額
 固有の権利
 牽連破産

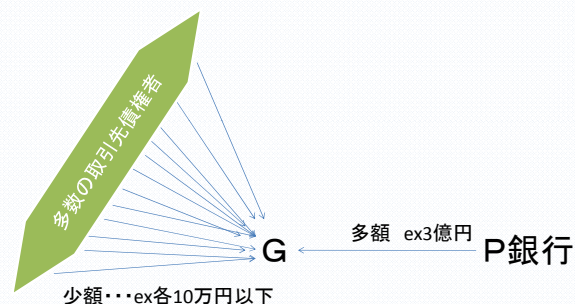
権利変更の平等

- 権利変更の内容は平等でなければならない (155条1項)
- 例外: 同意・少額・劣後的債権・衡平を害しない場合

85条5項前半の「少額」

- 1項 個別的権利行使の禁止 弁済の禁止
- 5項 少額の再生債権を早期に弁済することにより再生手続を円滑に進行することができる
とき・・・裁判所は個別弁済を許可できる

手続コストの低減&頭数要件



債権者平等の確保を超える価値

- 再生債権者への再生計画外での個別弁済が、債権者平等の確保を超える価値を有する場合には、例外的に再生債権者への再生計画外での個別弁済が許容される、と説明されています。

85条5項後半の「少額」

- 少額の再生債権の早期に弁済しなければ再生債務者の事業の継続に著しい支障を来すとき・・・その弁済をすることを許可することができる。

衡平vs清算価値保障

衡平を害しない



清算価値保障の原則

比例平等弁済

債務者財産価値の最大化

清算価値保障原則